



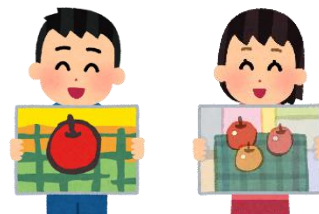
# みどりっ子便り



## 輝く みどりっ子

今年度も各種コンクール等の入選の便りが学校に届き始めました。今後も「輝く みどりっ子」コーナーとして子どもたちの活躍を紹介いたします。

【水道週間ポスター展】 準特選 4年 三坂 杏麗さん  
入選 4年 宗像 那尚さん



## 第1回学校運営協議会より

5月27日(月) 緑ヶ丘中学校にて令和6年度第1回学校運営協議会を行いました。学校運営協議会とは、保護者、地域住民等の学校運営への参画と支援及び協力を促進することにより、学校、保護者、地域等が連携し合って児童及び生徒の健全育成に取り組むための組織です。運営協議会委員は、市より委嘱される形で地域コーディネーターの方が委員長となり、地域団体の代表者、各小・中学校PTA代表者、各校長・教頭で構成されています。1回目は中学校、2回目を小学校、3回目を再び中学校で開催します。毎回、各校の授業を参観していただき、今年度の各校の取り組みなどについて話し合いをしています。その中で委員の方々より次のような話がありましたので共有したいと思います。

☆ 児童のあいさつがとてもよくなってきている。朝の交通指導で「いつもありがとうございます。」等々あいさつをしてくれる保護者の方や児童が増えてとても嬉しい。

☆ 地区内の坂道はスピードが出て危ないので、自転車は特に気をつけてほしい。一時停止箇所では、しっかり停まって安全を確認するように。路上での遊び、キックボード乗りなどは危険なので行わないように注意喚起してほしい。

今後も、学校、保護者、地域の皆様と連携し合い、子どもたちの健全な成長を目指して力を合わせて取り組んでまいります。

## 子どもたちの困り感に向き合うために

子どもたちは、学校生活の中での困り感をいろいろな形で表出します。困っていることや悩んでいることを、担任や家族、友達などに伝えることができれば、解決に向けてみんなで動き出すことができます。しかし、困り感を抱えたままうまく伝えたり、消化したりすることができずに、モヤモヤやイライラが心に積って暴れる、大声を出す、叩く、蹴る、教室を飛び出すなどの行動に現れることがあります。その時に、一番困っているのはそのお子さん本人であり、そのような行動は子どもからのSOSなのです。お子さんの困り感に向き合うために、そのような場面では、ぜひ、保護者の方にお子さんの様子を見ていただきたいと考えています。お子さんが具合の悪いときも保護者の方に来ていただいておりますが、心の緊急事態である状態でも保護者の方の来校をお願いしています。お子さんの困り感を学校と家庭が共有して、お子さんが何に困っているのか、困り感を減らすために何ができるかを一緒に考えたいと思います。少しでも早く、子どもたちの困り感に向き合い、寄り添い、解決に向けて方策を考えたいのです。ご多用とは存じますが、何よりも子どもたちのために、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。